

■米国：バイデン前副大統領、大統領選に向けた気候変動構想を公表

2020年の米国大統領選挙に民主党から立候補を表明しているジョー・バイデン前副大統領は2019年6月4日、大統領選挙に向けた気候変動構想「クリーンエネルギー革命」を公表した。同計画では、10年間にわたって連邦政府がクリーンエネルギー、インフラおよび公衆衛生に1兆7,000億ドル（地方政府や民間部門等を加えた総額は5兆ドル）を投じ、それによって1,000万人の雇用を創出し、2050年までに100%クリーンエネルギー経済とカーボンニュートラルを実現するとしている。目標の実現に向け、バイデン氏が大統領に就任した場合、(1) 2025年の任期の終わりまでにマイルストーン目標を含む実効化メカニズムを確立し、(2) クリーンエネルギー、気候研究およびイノベーションに歴史的規模で投資を行い、(3) 特に気候変動の影響を甚大に受けている地域においてクリーンエネルギーのイノベーションを経済全体に迅速に展開させる、としている。